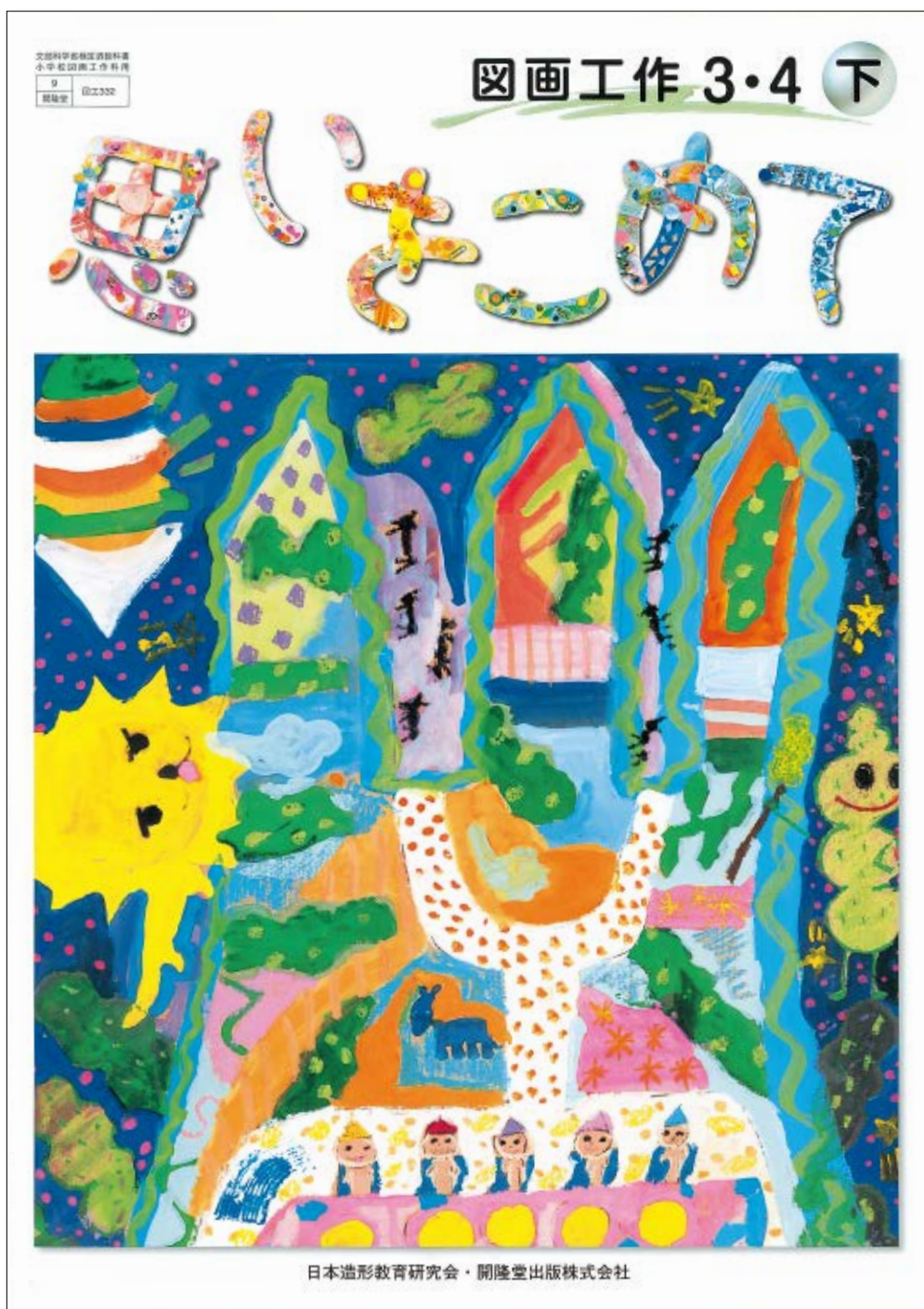


9	131
	132
図工	331
	332
開隆堂	531
	532

平成27年度用・図画工作

教科書のご案内

かいたり、つくったりするたのしい活動を通して、
豊かな心と確かな学力を育てる教科書です。



▲表紙の作品：「とんがり山の動物たち」(部分)

編集の基本方針

開隆堂の「図画工作科」教科書は、「一人一人の児童の心を開き、自発的に課題をつかみ、児童自らが創造活動をたのしむような心を育てる教科書」を目指して編集しています。図画工作の教科書づくりを通して、21世紀を担う児童がより豊かな人生を送れる一助になることを願っています。



真剣な眼差しを応援します！

教科書の10大特色

- | | |
|--------------------------------------|--------------|
| ① 児童の学習意欲を高める大判の教科書 | ➡本冊子3・4ページ |
| ② わかりやすい「学習の目標」と「ふりかえり」で確かな学力を育てる教科書 | ➡本冊子5～7ページ |
| ③ 授業の流れに沿って、習得・探究・活用がわかる、学びやすい教科書 | ➡本冊子8・9ページ |
| ④ 基礎・基本の習得を重視したわかりやすい教科書 | ➡本冊子10・11ページ |
| ⑤ 造形を通した言語活動で、コミュニケーションの力を育てる教科書 | ➡本冊子12・13ページ |
| ⑥ 鑑賞を重視し、豊かな心を育てる教科書 | ➡本冊子14・15ページ |
| ⑦ もっとこうしたい。児童の探究心に応える教科書 | ➡本冊子16・17ページ |
| ⑧ 伝統を重視し、郷土愛を育む教科書 | ➡本冊子18・19ページ |
| ⑨ 安全、環境、カラーユニバーサルデザイン…。今日的な課題に応える教科書 | ➡本冊子20・21ページ |
| ⑩ 中学校との接続に配慮し、発達の段階に合わせて内容を系統化した教科書 | ➡本冊子22～24ページ |
| ● 資料 観点別・編集の特色 | ➡本冊子25～28ページ |

1

児童の学習意欲を高める大判の教科書

児童の発達の段階に応じた作品や写真を大きく掲載するために、判型を大判化し、A4判としました。

●作家作品や児童作品を大きく掲載することで作品の工夫がよくわかります。



ランドセルに
ピッタリ入る
サイズです。

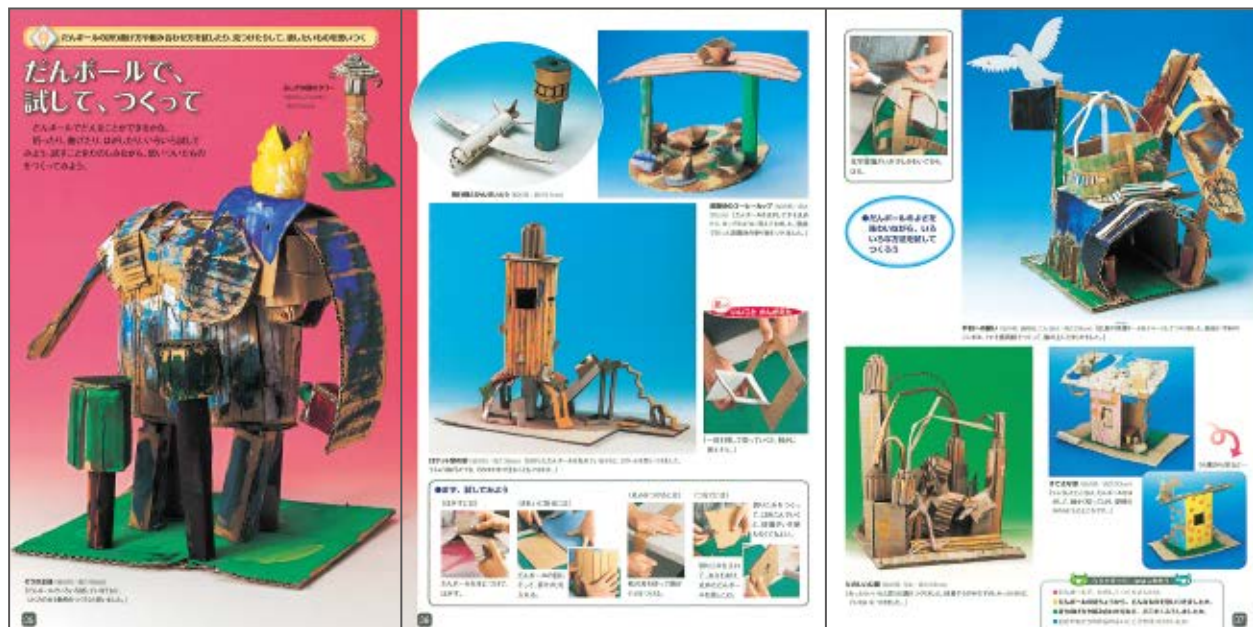


◀5・6年下巻p.10・11
「わたしのお気に入りの場所」

大きくした紙面
スペースを使って、「ふりかえりの4観点」を入れました。

発想・構想のプロセスを
充実して掲載しています。

●5・6年の上下巻には折り込みページを使って3ページ展開の題材を設けています。



▲5・6年上巻p.35～37「だんボールで、試して、つくって」

小さな
美じゅつ館

やってみたいな

できたらいいな。いいこと考えた。
たのしいゆめやアイデアがいっぱい。
あなたがやってみたいことは何ですか。

実物大
ページ

3・4年上巻p.2~4
「小さな美じゅつ館」

●何でできて
いるのかな

大型図版が
生きるように、鑑賞の
授業の手立てとなる
投げかけを充実させ
ています。

図版を大きく
掲載することで、
作家作品の
工夫がよくわかり、
児童の意欲が
高まります。

表紙をめくると
迫力ある作品が目
飛び込んできます。



トイザウルス (プラスチックなど/高さ200cm) 2009年 藤浩志 (1960~) 写真/池田晶紀

●育てたい力を表す3つのマークと学習の目標

図画工作の授業を通して、児童に教え、育て、培いたい力を大きく3つにくくり、3種類のマークで示しました。各題材で中心となる学習の目標をマークとともに示してあります。



「試したり、見つけたり、考えたりして思いつく力」がつくことを中心的な課題とする題材で、自分らしい造形的な表現を追求したり、発見したりします。



「形や色、方法や材料を工夫する力」がつくことを中心的な課題とする題材で、造形的なものの見方や考え方を知り、造形感覚を養います。



「心を開いてたのしく活動し、友だちとかかわり、協力し合う力」がつくことを中心的な課題とする題材で、造形活動の快さを経験し、相互理解を図ります。

●4観点の「ふりかえり」でつく力を確認

各題材の末尾には、国立教育政策研究所が示している評価の4観点に対応した「学習のふりかえり」のコーナーを設けました。

学年に応じて、 ふりかえってみよう (低学年)、 ふりかえって、はなしあおう (中・高学年) を設け、その題材で学習したことを、言語活動を通して児童が「自己評価」する手助けになります。



学習の目標

育てたい力のマークとともに題材に即して、学習のねらいを示しています。

学習の目標と4観点が対応しています。

形や色の組み合わせをくふうする

ふりかえって、はなしあおう

- 紙をはさみで自由に切ることをたのしみましたか。
- 切った紙の形や色からどんなことを思いつきましたか。
- 形や色の組み合わせ方でどんなところをくふうしましたか。
- 自分や友だちの作品のよいところはどこですか。

4観点の中から、目標に照らしてその題材で特に大切にしたい項目を太字で示しています。

ふりかえって、はなしあおう

児童がその題材でつく力を自己評価する手助けになります。

国立教育政策研究所の示す評価の4観点

- 造形への関心・意欲・態度
- 発想や構想の能力
- 創造的な技能
- 鑑賞の能力

に対応しています。

授業で育てたい力を3つのマークで示し、4観点の「ふりかえり」とあわせて、各題材でどんな力がついたのか確認しながら学ぶことができます。



▲1・2年上巻p.37「こころの はなを さかせよう」

ふりかえり
 発達の段階に応じて、
 低学年では
 「ふりかえてみよう」、
 高学年では
 「ふりかえて、はなしあおう」
 としました。



▲1・2年下巻p.36「かぶって へんしん」

●題材ごとの目標を明記した使いやすい「もくじ」で
 育つ力を確認できます。

もくじ	
小さな美術館	2～4
春のふしをさがそう	5～7
感じたままに花	8～9
わたしのあじに入りの場所	10～11
なぞの入口から	12～13
春と秋のコンサート	14
白い物語	15
風のうた	16～17
ひらめきコーナー	18～19
動き出すストーリー	20～21
強くてやさしい積み木パズル	22～23
クローズアップで見る新緑	24～25
白の世界	26～27
はなみと虹のハーモニー	28
おどろき、遊ぶかけ	29
形と色が動き出す	30～31
見つけたことを話してみよう	32～34
写して見つけたわたしの世界	35～37
わたしはデザイナー 12歳の力で	38～39
伝え方をたのしもう	40～41
みんなのギャラリー	42～43
パレットコーナー	44～45
言葉集	46～47

選択題材の設定
 地域や学校の実情、
 児童の実態に応じて、
 題材を選択する
 ことができます。

育てたい力の明示
 各題材で一番大切に
 したい、育てたい力が
 わかります。

用具・材料の明示
 授業で使う主な用具・
 材料がすぐにわかります。
 一年間を見通した
 指導計画を立てる際に
 ご活用いただけます。

折り込みになった目次を
 広げると、本文と対応さ
 せながら、育つ力や用具・
 材料などを確認するこ
 とができます。

内容領域の明示
 学習指導要領に
 即した内容領域が
 わかります。

▲5・6年下巻p.5「もくじ」

3

授業の流れに沿って、習得・探究・活用がわかる、学びやすい教科書

●教えやすく学びやすい、授業の流れに沿った紙面構成。

はじめに必ず「**学習の目標**」を明示しています。

注目してほしいポイントは**虫眼鏡マーク**で拡大して示しています。

授業の導入にそのまま使える**題材名と主文**。



5・6年下巻
p.26・27
「白の世界」▶

すみずみまで工夫がわかる大きな作品写真で、児童の意欲を高めます。

児童の具体的な発想のプロセスや表し方の工夫を示しました。「あなたなら、どう表しますか」という問いかけから新しい発想が生まれます。

授業の最後には「**4観点の評価**」に対応した「**ふりかえり**」を設定。言語活動を通して、題材についての力の自己評価ができます。



発想のきっかけとなる手立てを充実させました。

発想・構想の力が発揮されている場面をとらえて

あっ
いいこと かんがえた
マークで示しました。



▲1・2年上巻p.34「できたらいいな、こんなこと」

▲3・4年下巻p.20「みんなで、どんどんむすんで、つないで」

基礎・基本の習得を重視した わかりやすい教科書

●授業に即した豊富な資料で描画材料や用具の使い方、色彩などの知識が身につきます。



▲3・4年上巻p.42・43「パレットコーナー」



▶3・4年下巻
p.42・43
「パレットコーナー」

用具の使い方を知るだけでなく、活用の場面も示しています。



描画に必要な色彩などの知識もあわせて示しています。

◀5・6年上巻
p.44・45
「パレットコーナー」

既習事項の確認を
「もう一度たしかめよう」
として示し、定着を図ります。

基礎・基本を重視した資料ページ「パレットコーナー」「道具箱」を各学年わたって充実させました。

- 各学年の最終ページは「道具箱」です。用具・材料の使い方を確実に身につけられるように、いつでも開きやすいページに掲載しています。



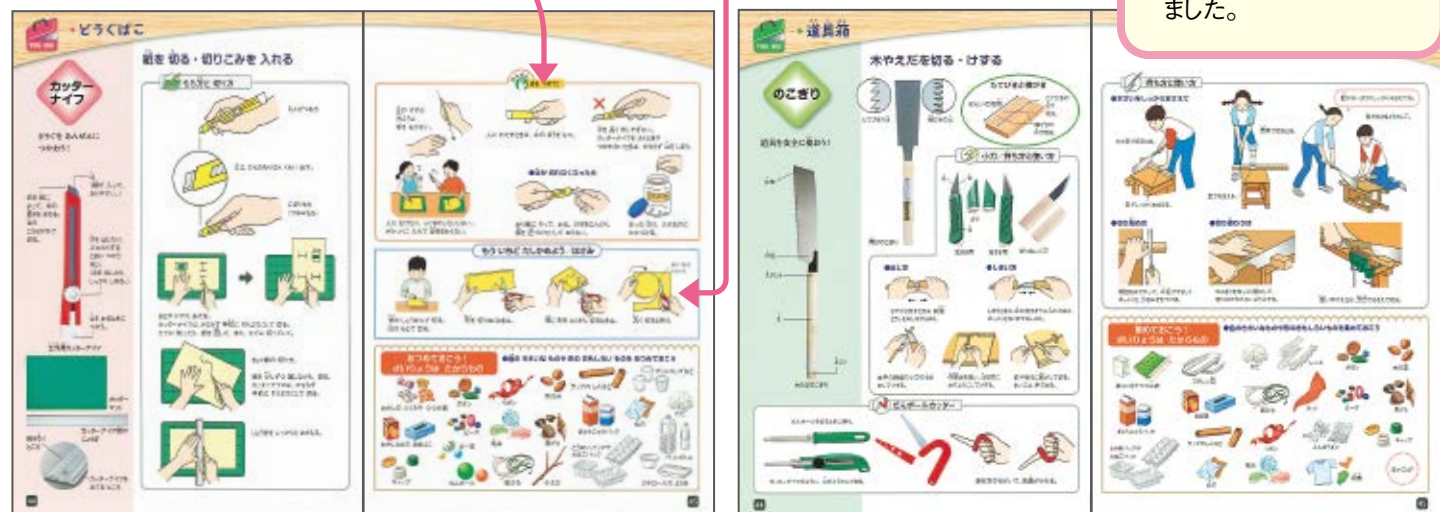
道具箱では、各学年に必要な用具・材料の使い方をまとめて、丁寧に示しました。

※現場の実態に即して、くぎの本来の使い方である接合を正しく学習するという目的達成の観点から、それぞれ中学年で学習するという学習指導要領の範囲内で見直しを行い、上巻で扱いやすい「のこぎり」、下巻で「かなづち」を学習するようにしました。

▲3・4年下巻p.44・45「道具箱」

「安全」な使い方を適宜、示していますので、安心してご指導いただけます。

既習事項の確認を「もう一度たしかめよう」として示し、定着を図ります。



▲1・2年下巻p.44・45「道具箱」

▲3・4年上巻p.44・45「道具箱」

造形を通じた言語活動で、 コミュニケーションの力を育てる教科書

●コミュニケーションや言語活動を重視した題材を多く設定しています。



自分自身を形と色で紹介し合います。
1年生の1学期に設定し、クラスづくりにも役立ちます。

家族や友だち、
お世話になっている人に
カードで伝えます。

▲1・2年上巻p.9「じぶんマーク」で
みんなとむちち」



▲3・4年下巻p.30・31「ハッピーカード」

児童のかかわり合っている場面を随所に設定しました。



▲3・4年上巻p.14
「光と色のファンタジー」



▲5・6年上巻p.20・21「くるくる回して」「ビー玉、大ぼうけん」

いろいろな場面で、相互理解・人間理解につながる活動を提案しています。

- 各学年の終わりには必ず総合的な扱いの題材を設定し、共同でつくり出すことによるコミュニケーション能力の育成を図ります。



▲3・4年上巻p.38・39「みんなでオン・ステージ」

- 相互鑑賞の場面を適宜、設定しました。



ここでは、友だちの作品のよいところを伝え合う活動を取り上げています。

▲1・2年下巻p.10・11「えのぐじま」

題材の最後には必ずふりかえりを設け、自己確認・相互理解を図ります。

発達の段階に応じて、

ふりかえってみよう (低学年)

ふりかえって、はなしあおう (中・高学年)

を設定しました。コミュニケーションを図りながら自己確認ができます。

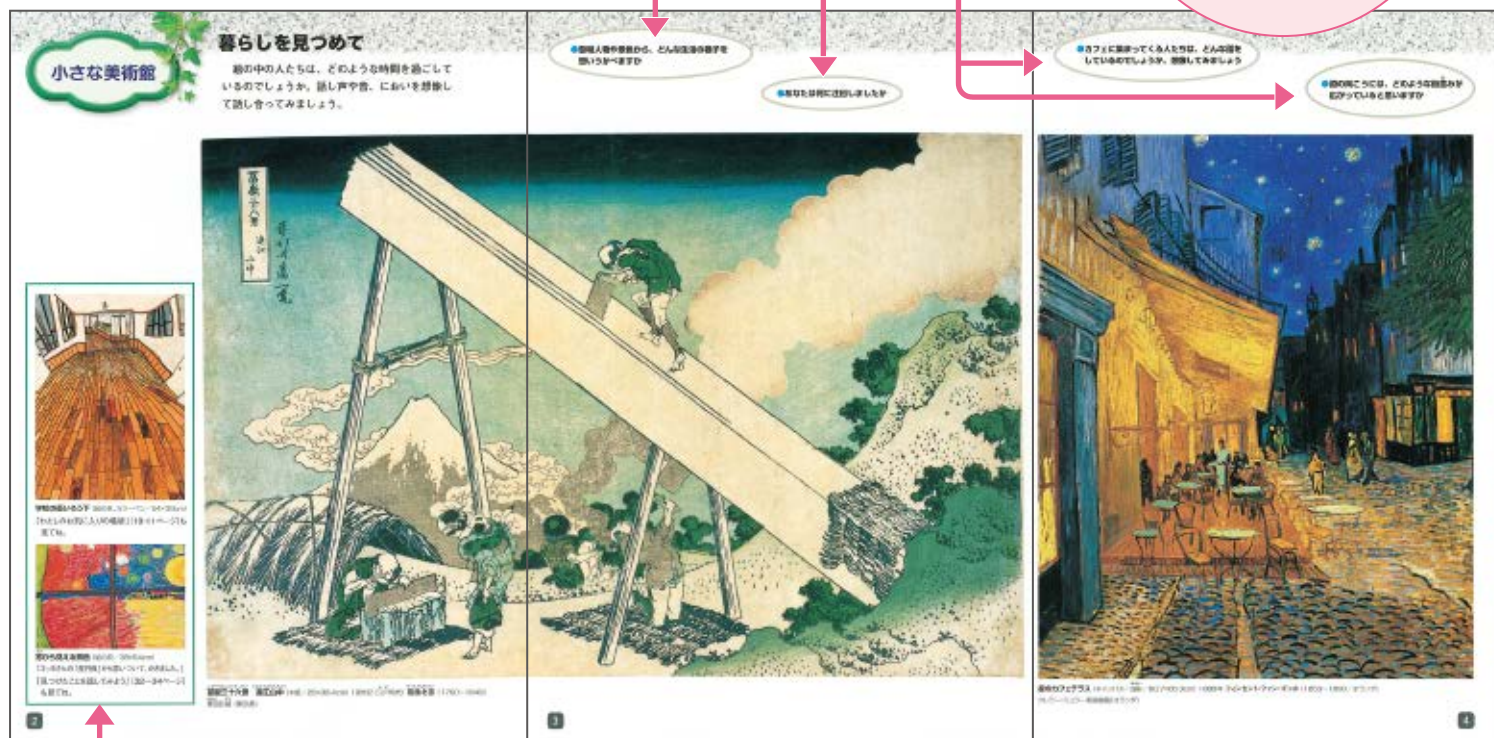
6

鑑賞を重視し、豊かな心を育てる教科書

- 「小さな美術館」では、折り込み3ページに作家作品を大きく掲載し、鑑賞活動ができるようにしています。

鑑賞を深める手立てとして、問いかけを設定しています。

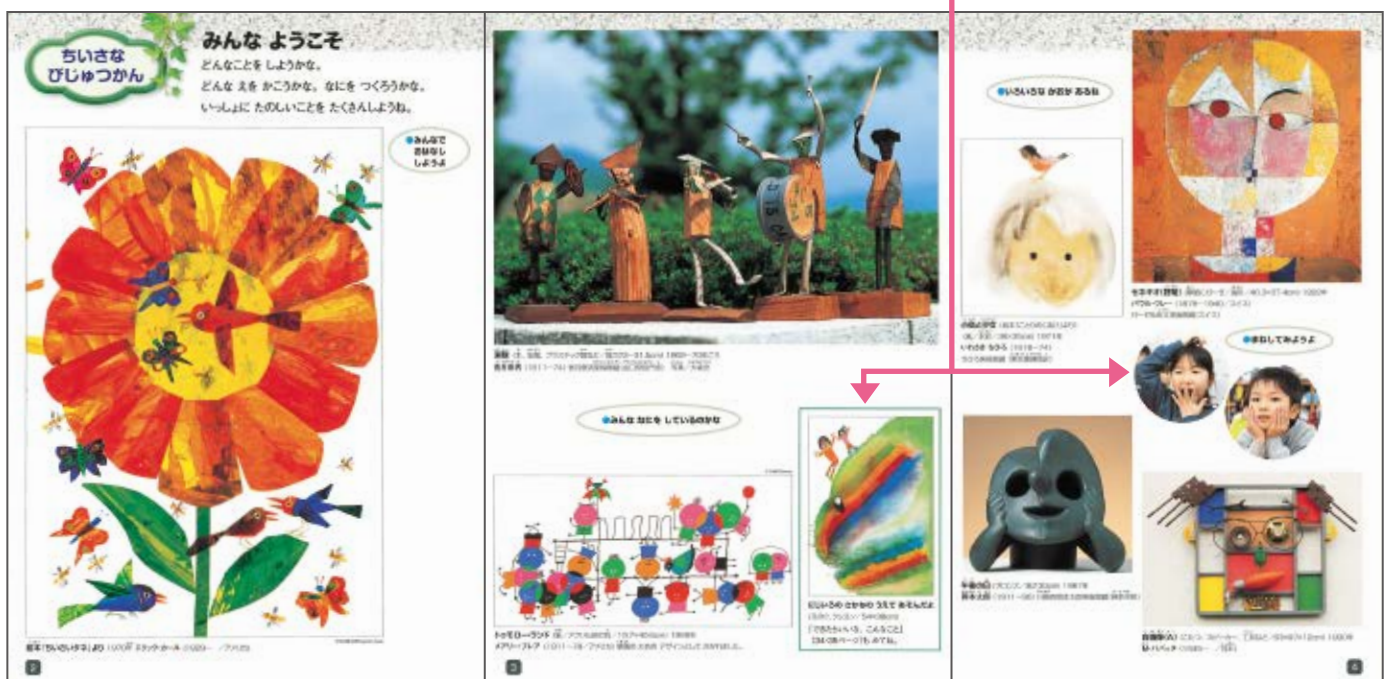
表紙をめくると
大判の図版が
目に飛び込んで
きます。



▲5・6年下巻p.2～4「小さな美術館」

作家作品から思いついて製作した児童
作品や児童の活動を示しています。

各学年の発達の段階に
応じてテーマを設定し、
作品を選びました。



▲1・2年上巻p.2～4「ちいさな びじゅつかん」

取り組みやすい鑑賞題材を提案しています。子どもたちが親しみを覚えるような作家作品を大きく掲載することで、学校内でも充実した鑑賞の活動ができます。

●学校の授業の中でできる取り組みやすい鑑賞題材を提案しています。



見つけたことを話し合うことから鑑賞が深まります。

▲5・6年下巻p.32～34「見つけたことを話してみよう」



友だちと形や色の感じ方の違いを味わう鑑賞の題材です。

◀3・4年上巻p.23「タッチ、キャッチ、さわりごち」

低学年には、随所に鑑賞の場面を設定しました。

▶1・2年上巻p.17「みて、みて、いっぱいつくったよ」



●作家からのメッセージを通して、表現することのたのしさを児童に伝えています。

夢を追い続けている作家の姿と作品の魅力に触れることができるページを各学年に設定しました。



▲3・4年下巻p.6・7「ゆめをかたちに」

7

もっとこうしたい。児童の探究心に 応える教科書

●授業から広がる発展的な内容を示しました。



▲3・4年下巻p.22・23「パックパク」



材料の工夫・広がりや
考えを広げて として、
ブルーの囲みで
示しています。



▲1・2年下巻p.13
「にじいろコレクション」

活動内容の広がりを **考えを広げて** として、
ブルーの囲みで示しています。



各学年に短時間で造形要素を学ぶ絵の2時間題材として、
形と色でショートチャレンジを設定しています。
ページの最後には、領域にとらわれない発展的な活動を紹介しています。



◀5・6年下巻p.30・31「形と色が動き出す」

学 年	題材名	特化した造形要素
1・2年上	はっけん！ あたらしいなかま	色の変化による バリエーション
1・2年下	形の 「かくれんぼ」	形の見立て
3・4年上	ひみつの へんしんショー	形と色で表す 場面の变化
3・4年下	友だち、たくさん 集まって	形の集合と 構成要素
5・6年上	見える見える！ 遠くに、近くに	重なりによる 遠近の表し方
5・6年下	形と色が 動き出す	形や色の变化で 表す物語

8

伝統を重視し、郷土愛を育む教科書

●大切に守られてきた伝統文化や地域に伝わる行事を取り上げています。



▲5・6年下巻p.42・43「みんなのギャラリー」

みんなのギャラリーでは、
全学年で、伝統文化や
地域に目を向ける内容
を取り上げています。

▼3・4年上巻p.40・41「みんなのギャラリー」



裏表紙でも、地域の
伝統文化にかかわる
内容を扱いました。



▲5・6年上巻p.42・43「みんなのギャラリー」



18 ▲5・6年上巻 裏表紙

学 年	地域・伝統にかかわって取り上げた内容の一例		
1・2年上	岩槻人形 (埼玉県)	フラッグアート (栃木県)	スノーガーデンショー (北海道)
1・2年下	うしく現代美術展 (茨城県)	秋田竿灯まつり (秋田県)	ランタンフェスティバル (長崎県)
3・4年上	ねぶた祭り (青森県)	ふく凧 (山口県)	組木細工 (神奈川県)
3・4年下	板相撲 (熊本県)	江戸小紋 (東京都)	絹と機織り (群馬県)
5・6年上	平和の灯 (長崎県)	備前焼 (岡山県)	鎌倉彫 (神奈川県)
5・6年下	加賀友禅 (石川県)	大漁旗 (千葉県)	藍染 (徳島県)



●さまざまな地域の暮らしの中の造形に目を向ける工夫をしています。

地域の
取り組みや
造形物に目を
向けます。



▲5・6年下巻p.42・43「みんなのギャラリー」



▲5・6年下巻 裏表紙



▲3・4年下巻 裏表紙

●地域や季節に合わせた扱いやすい材料を提示しています。



◀3・4年上巻p.24・25
「いつもの場所で…」

地域や学校事情に
配慮して、自然材料
の活動には、異なる
材料での活動案を
示しました。ここでは、

として、枝木以外の活動を示しています。

安全、環境、カラーユニバーサルデザイン…。 今日的な課題に応える教科書

- 安全や後片付けなど、配慮すべき点をわかりやすく具体的に示しました。



▲1・2年下巻p.16・17「どうぶつさんといっしょに」



▲5・6年下巻p.46・47「道具箱」

▲5・6年上巻
p.46・47「道具箱」



▲3・4年下巻p.36・37「はんと出てくる不思議な花」



▲1・2年上巻p.36

「おきな かみでわくわく」



▲3・4年上巻p.12

「長——い紙、つくって」

間伐材を
扱っています。

- 自然や環境問題に目を向けます。



▲1・2年下巻p.12

「土って気持ちがいい」



▲5・6年上巻p.39

「線が包んだ形、線がつくった形」

たのしく安全に学習できるようなさまざまな工夫で児童が主体的に学ぶ力がつきます。
カラーユニバーサルデザインにも配慮し、すべての児童にやさしい教科書を目指しました。

- 特定非営利活動法人カラーユニバーサルデザイン機構の監修を得て、すべての子どもたちにやさしい教科書づくりに取り組んでいます*。



- カラーユニバーサルデザイン機構(CUDO)発行の認証マークを取得予定です。このマークは、使用されている配色について、できるだけ多くの人に情報が伝わる配色であるかをCUDOがモニター検証し、「情報の伝わりやすさ」「使いやすさ」について機構の基準に合致する場合に使用が許諾されるものです。カラーユニバーサルデザインに配慮されたデザインであると正式に認証されたことを示すものです。

- デジタルカメラやタブレット型のコンピュータなどのICT機器も、学校の設備状況などを考慮しながら取り上げています。

タブレットPCを使った最新の事例の紹介もしています。



▲5・6年上巻p.6・7「小さな美術館」



▲5・6年下巻 裏表紙



▲1・2年上巻p.18・19「ひらめきコーナー」



▲5・6年下巻p.24・25

「クローズアップで見える新世界」

*色の感じ方は人によって異なります。「色弱者」は、日本では男性の約20人に1人、女性の約500人に1人、日本全体で約300万人以上いると考えられています。多様な色覚をもつさまざまな人に配慮して、すべての人に情報が正確に伝わるように配慮されたデザインを「カラーユニバーサルデザイン」と言います。すべての児童に教科書の内容がきちんと伝わる紙面づくりのためには、特別なノウハウが必要となりますが、開隆堂では、色の組み合わせを識別しやすいものにし、色だけに頼らなくても内容が理解できるよう工夫したりして、支障なく学習できる教科書を目指しています。

中学校との接続に配慮し、発達の段階に合わせて内容を系統化した教科書

分野・領域ごとに、目標や育てたい力などを考慮して系統的にバランスよく題材を配列しています。詳しくは右ページからの題材系統表をご覧ください。中学校への接続にも配慮しています。



▲5・6年上巻p.30・31

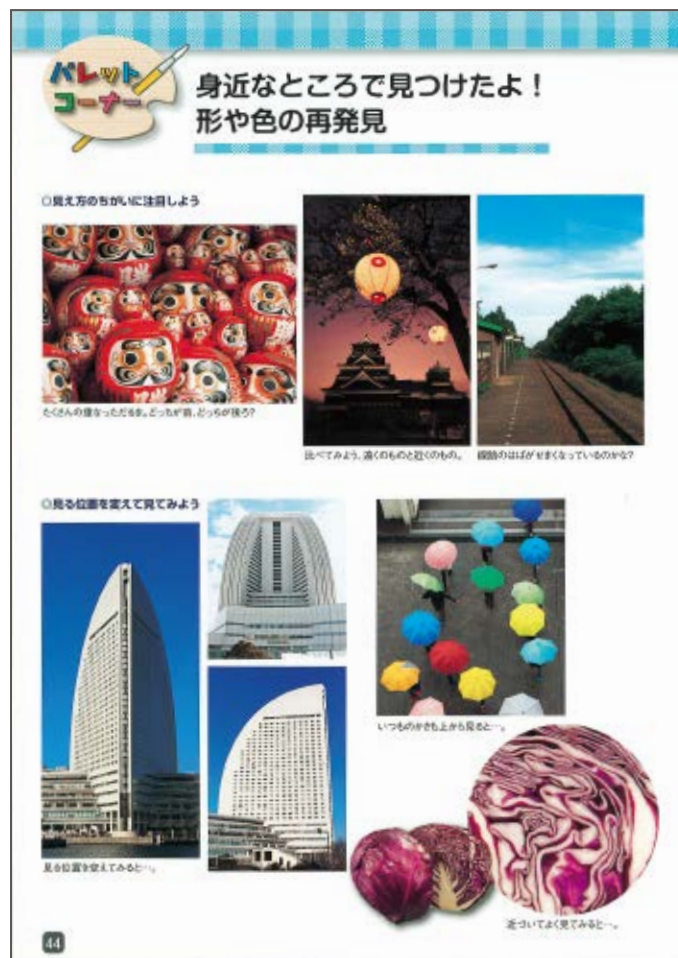
「見える見える! 遠くに、近くに!」

中学校美術で学ぶ
色相環につながる
考え方をたのしく
学習します。

中学校美術で学ぶ
遠近法や構図の
取り方につながる知識を
たのしく学習します。



▲5・6年上巻p.44・45「パレットコーナー」



▲5・6年下巻p.44・45「パレットコーナー」

中学校技術・
家庭科(技術分野)に
つながる内容も
扱っています。



▲5・6年下巻p.22・23

「強くてやさしい組み木パズル」



▲5・6年下巻p.20・21

「動き出すストーリー」

題材系統表

学習指導要領の趣旨にそって、図画工作科を通して、子どもたちに 何を教え、何を培い育てるのかを明確にしました。

○数字はページ数を示しています。

題材は、全学年を通して「分野・領域」ごとに、ねらいや使用材料などを考慮し、系統的にバランスよく配列されています。

学 年				第1・2学年 ^上	第1・2学年 ^下	第3・4学年 ^上	第3・4学年 ^下	第5・6学年 ^上	第5・6学年 ^下		
学習指導要領との関連											
A 表現	(1)	造形遊び	①自然材料や人工材料など、材料をもとにした活動	しぜんと なかよし ⑩	土って 気持ちがいい ⑫	いつもの場所で… ⑳㉔㉕	(みんなで、どんどん むすんで、つないで ㉔)	(流れる風をつかまえて ㉓)	(白い物語 ⑮)		
				おおきな かみで わっくわく ㉔	ちきゅうからの おくりもので ㉔㉕	だんだんだんボール ㉔	(いい場所見つけて、囲んでみよう ㉔㉕)	自然に中で感じたことを… ㉔㉕	(おどる光、遊ぶかげ ㉕)		
			②材料の造形的な操作をもとにした活動	いろいろ ならべて ⑬	にじいろコレクション ⑬	長——い紙、つくって ⑫	みんなで、どんどん むすんで、つないで ㉔	流れる風をつかまえて ㉓	白い物語 ⑮		
				うつして あそぼう ㉔㉕	切って、ひねって、つなげると ㉔	(だんだんだんボール ㉔)	いい場所見つけて、囲んでみよう ㉔㉕	(自然に中で感じたことを… ㉔㉕)	おどる光、遊ぶかげ ㉕		
	(2)	絵	①-A：形や色、材料から発想する絵画題材	クルクル ぐるーり ⑫	えのぐじま ⑩⑪	絵の具と水のハーモニー ⑧⑨	絵の具で遊んで「自分いろがみ」 ⑧～⑩	めざせ、ローラーの達人 ⑭⑮	感じたままに花 ⑧⑨		
				さわって、はって、たしかめて ㉔㉕	ぼかしあそびで ㉓	にじんで広がる色の世界 ㉔	(見つけたよ、この色 すてきだね、その色 ⑪)	でこぼこ広場に絵の具が走る ㉔㉕	墨のうた ⑯⑰		
				てで さわって かくの きもちいい! ㉓	キラキラシャボンで ㉕						
			①-B：版に表す絵画題材	(うつして あそぼう ㉔㉕)	うつして 見つけて ③④⑤	でこぼこもようのなかまたち ③③④	ほると出てくる不思議な花 ③⑥⑦	色を重ねて、ゆめを広げて ③②～③④	写して見つけたわたしの世界 ③⑤～③⑦		
			②言葉やお話から想像したり、発想したりする絵画題材	できたらいいな、こんなこと ③④⑤	つづきえ どんどん ⑭	ふしぎな乗りもの ㉔㉕	へんてこ山の物語 ㉔㉕	「そのぼ」くん登場 ㉔㉕	クローズアップで見える新世界 ㉔㉕		
			③見たことや経験したことをもとに表す絵画題材	すきなもの いっぱい ⑧	すきなこと なあに ⑧	友だちといっしょに ⑪	木々を見つめて ⑯⑰	春を感じて ⑧⑨	わたしのお気に入りの場所 ⑩⑪		
				えがおつうしん にっこりニュース ㉔	どうぶつさんと いっしょに ⑯⑰	にこにこべんとう ベタンコランチ ③⑥	(ハッピーカード ③③④)				
			④伝え合いたいことや飾ものを表す絵画題材	「じぶんマーク」で みんな ともだち ⑨	どきどきカード ③⑦	ようこそ、キラキラの世界へ ⑬	見つけたよ、この色 すてきだね、その色 ⑪	(めざせ、ローラーの達人 ⑭⑮)	はさみと紙のハーモニー ㉔		
				こころの はなを さかせよう③⑦			ハッピーカード ③③④				
			⑤仕組みや造形的な操作から発想する絵画題材	はっけん! あたらしい なかま ③②③③	形の「かくれんぼ」 ③②③③	ひみつのへんしんショー ③②③③	友だち、たくさん集まって ③②③③	見える見える! 遠くに、近くに ③③④	形と色が動き出す ③③④		
			※絵画表現における用具・材料の扱い方のページ	パレットコーナー ④②④③	パレットコーナー ④②④③	パレットコーナー ④②④③	パレットコーナー ④②④③	パレットコーナー ④④④⑤	パレットコーナー ④④④⑤		
			(2)	立体	①粘土の特質を活動の中心に据えた立体題材	みて みて、いっぱい つくったよ ⑯⑰	ひみつの グアナコ ㉔㉕	にぎって、ひねって、ひらめいて ⑯⑰	リズムにのって ⑫⑬	切ったねん土の形から ⑩⑪	なぞの入り口から… ⑫⑬
					②雑材の立体題材	どうぶつむらの ピクニック ㉔	ギュッとしたい わたしの「お友だち」⑮	くつ下や手ぶくろにまほうをかけると ③⑦	願いの種から ③④⑤	だんボールで、試して、つくって ③⑤～③⑦	白の世界 ㉔㉕
				工作	①使うものをつくる工作題材			カラフルねん土のお店へようこそ ⑩	つくって、つかって、たのしんで ㉔㉕	(糸のこのドライブ ⑫⑬)	わたしはデザイナー 12さいの力で ③⑧⑨
					②遊ぶものをつくる工作題材	おさんぽ トコトコ ㉕	コロコロ大さくせん! ㉔	タイヤをつけて出発進行!! ㉕	バックバク ㉔㉕	くるくる回して ㉔㉕	動き出すストーリー ㉔㉕
						びっくり ピョーン ㉕	かぶって へんしん ③⑥	みんなでオン・ステージ ③⑧⑨	(トントンつないで ⑭⑮)	ビー玉大ぼうけん ㉕	(強くてやさしい組み木パズル ㉔㉕)
					③飾ものをつくる工作題材	ひかりの くのに なかまたち ⑪	くつつきマスコット ⑨	光と色のファンタジー ⑭	ゆめいろらんぶ ③⑧⑨	クルリンげきじょう ㉔	布と枝のコンサート ⑭
						のばして べったん ㉔				小さな箱の物語 ⑮	(線が包んだ形、線がつくった形 ③⑧⑨)
④伝え合うものをつくる工作題材	ゆめの まち さんちょうめ ③⑧⑨	ピコリン星 ゆめの ステージ ③⑧⑨			(みんなでオン・ステージ ③⑧⑨)	(ゆめいろらんぶ ③⑧⑨)	伝えたい気持ちを箱につめて ④③④	伝え方をたのしもう ④③④			
⑤-A：材料の操作や新しい技法をきっかけにつくる工作題材(新しい材料から)	くしゃくしゃがみから うまれたよ ③③④	あつめて、ならべて、いいかんじ ㉔㉕			こんにちは、ふわふわさん ㉔㉕	(ゆめいろらんぶ ③⑧⑨)	線が包んだ形、線がつくった形 ③⑧⑨	(白の世界 ㉔㉕)			
⑥-B：材料の操作や新しい技法をきっかけにつくる工作題材(新しい用具から)	チョッキン パッド かざろう ⑭⑮	カッターナイフタワー ③③④			のごぎりひいて、ザク、ザク、ザク ③④⑤	トントンつないで ⑭⑮	糸のこのドライブ ⑫⑬	強くてやさしい組み木パズル ㉔㉕			
※紙や、紙でできた身近なものを主材料にしたページ	ひらめきコーナー ⑮⑯	ひらめきコーナー ⑮⑯			ひらめきコーナー ⑮⑯	ひらめきコーナー ⑮⑯	ひらめきコーナー ⑮⑯	ひらめきコーナー ⑮⑯			
※工作表現における用具・材料の扱い方のページ	どうぐばこ ④④⑤	どうぐばこ ④④⑤			道具箱 ④④⑤	道具箱 ④④⑤	道具箱 ④⑥⑦	道具箱 ④⑥⑦			
B 鑑賞		①身近な材料、自分や友だちの作品、身近な美術作品などを味わう題材			(チョッキン パッド かざろう ⑭⑮)	(えのぐじま ⑩⑪)	タッチ、キャッチ、さわりがこち ㉓	カードで味わう、形・色 ㉕	「かくれんぼさん」をさがせ! ⑯⑰	見つけたことを話してみよう ③②～③④	
					(うつして あそぼう ㉔㉕)	(カッターナイフタワー ③③④)					
			(くしゃくしゃがみからうまれたよ ③③④)								
			※我が国や諸外国の美術作品を鑑賞するページ	ちいさな びじゅつかん ②～④	小さな びじゅつかん ②～④	小さな美じゅつ館 ②～④	小さな美じゅつ館 ②～④	小さな美術館 ②～④	小さな美術館 ②～④		
※作家の表現活動を鑑賞するページ	ゆめを かたちに ⑥⑦	ゆめを かたちに ⑥⑦	ゆめをかたちに ⑥⑦	ゆめをかたちに ⑥⑦	ゆめをかたちに ⑥⑦	ゆめをかたちに ⑥⑦					
※日本の伝統文化や地域の暮らしの中の造形作品を鑑賞するページ	みんなの ギャラリー ④③④	みんなの ギャラリー ④③④	みんなのギャラリー ④③④	みんなのギャラリー ④③④	みんなのギャラリー ④②③	みんなのギャラリー ④②③					

平成27年度用
開隆堂「図画工作」教科書検討から見た観点別・編集の特色

● 内容の程度・範囲・適切度

主な観点	編集の特色	該当ページ
学習指導要領との関連	学習指導要領における図画工作科の「目標」である「表現及び鑑賞の活動を通して、感性を働かせながら、つくりだす喜びを味わうようにするとともに、造形的な創造活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。」を編集の基盤に置きました。 編集の基本方針として、 ①発達の段階に応じて系統的に構築した題材内容とともに、授業の目標、内容や方法、培いたい資質や能力を明確に整理して具体的に紙面に示し、教科の目標を達成することを目指しました。 ②児童に培いたい資質や能力を整理して学習の目標を示すとともに、造形表現の内容や方法を学年の発達や目標に応じて、系統的に編成した題材を示すことで、教科の「目標」を達成することを心がけました。 ③児童にとっては、見やすく、魅力的な紙面で学びやすくすると同時に、活動の見通しと振り返りの観点を通し、自ら思考、判断する状況を設定するなど、児童の自立を促し、「造形を通した人間教育」の実現を図ることを心がけました。	全般
学習指導要領「道徳」との関連	「道徳」に示された内容で、安全への配慮、自分の特徴を伸ばし、友達と理解し合う、父母や祖父、祖母、先生や学校の人々を敬愛する、美しい物に感動する心を持つ、郷土の伝統文化を大切に、愛する、わが国の伝統文化を大切にする、などとの関連を図っています。	全般
教育基本法(第二条)との関連 ・ 人権尊重への配慮	第1号 ／「真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと」については教科書の全題材および特設のページを通して教科の目標に迫ることで達成できるとらえています。「幅広い知識と教養を身に付け」は、特設のページでも補い、各題材での学びに生かしています。 第2号 ／自分とは何か、自分らしさとは何かということを造形的に表そうとすることは自己肯定感を高め、個人の価値尊重につながると考えて題材化しました。また、造形活動を愛し、それを職業としている人の活動を紹介することで、自分のやりたいことを見つける素晴らしさを伝えたいと考えました。 第3号 ／友達と協力して表現する活動の中には、互いの考えを主張したり調整したりすることが必要となり、形、色、言葉などを通して互いのよさを感じ合える題材づくりに努力しました。また、互いの心を通わせる絵手紙やカードづくりは相手への思いやりの心をふくらませます。	1・2上／1・2下／3・4上／3・4下(2～4頁、6～7頁、42～45頁)／5・6上／5・6下(2～4頁、6～7頁、44～47頁) 1・2上(6～9、12、23、32～33、37頁)／1・2下(6～7、10～12、25、37頁)／3・4上(6～9、23、34～36頁)／3・4下(6～7、8～11、21、32～33頁)／5・6上(6～7、16～17、30～31頁)／5・6下(6～9、16～17、30～33頁) 1・2上(14～15、28～31、37～41頁)／1・2下(30～33、37～41頁)／3・4上(23～25、28、36、38～41頁)／3・4下(11、21、28、38～41頁)／5・6上(6～7、16～17、23、40～43頁)／5・6下(40～43頁)
・ 環境問題への配慮	第4号 ／自然の材料を扱うことや自然が豊かな場所で表現活動を行うことを通して自然のよさを感じ取れるような題材づくりに努力しました。自分の住む土地とは違う場所の自然のよさについても資料ページで紹介しました。	1・2上(10、40～41頁)／1・2下(12、16～17、26～29、40～41頁)／3・4上(24～25、40～41頁)／3・4下(16～17、40～43頁)／5・6上(8～9、28～29、42～45頁)／5・6下(8～9、14、42～43頁)
・ 文化の伝承や文化遺産の尊重への配慮 ・ 国際理解への配慮	第5号 ／造形作品や造形活動を通して我が国の文化や郷土のよさ、外国の文化などを伝えるようにしました。低学年では日本の行事の飾りづくりにつながる活動を取り入れ、高学年では日本画の鑑賞や墨を用いた表現活動などを取り入れました。また、諸外国の児童の作品を全学年で取り上げて紹介しました。	1・2上(2～4、14～15、34～35、40～41頁)／1・2下(2～4、16～17、26～29、40～41頁)／3・4上(2～4、26～27、34～35、38～43頁)／3・4下(2～4、8～9、14～15、24～25、40～41頁)／5・6上(2～4、29、39、42～43頁)／5・6下(2～4、11、16～17、22～23、28、32～34、42～45頁)
安全への配慮 後片付けへの配慮	安全や後片付けについて、配慮すべき点を  あんせん  かたづけ マークとともに、写真やイラストを用いて具体的に例示しました。材料や用具を安全に使用することはもとより、後片付けも大切な学習活動であることを示しました。また、各学年年末の「道具箱」では、使う用具や材料の基本的な扱い方をイラストや写真で示すとともに、必要な個所には  あんせん マークをつけて、安全な使い方ができるように配慮しています。	1・2上(10、13、36、44頁)／1・2下(16、27、45頁)／3・4上(25、28頁)／3・4下(20、29頁)／5・6上(46頁)／5・6下(46頁)
幼稚園・保育園および中学校との連携への配慮	身体性を伴う造形活動や、身近な自然や友達とのかかわり合いを大切にする題材を多く設定し、幼稚園・保育園での体験をもとに活動が展開できるように工夫しました。中学校「美術」との連携では、水墨画の実践や浮世絵の鑑賞、屏風絵の鑑賞、色彩の性質や特徴を知るなどの学習内容を設定しました。中学校「技術」との連携では、かきつぎの実践、クランクやリンク機構の実践などを設定し、適宜コラムでも取り上げています。	5・6上(20、45頁、裏表紙)／5・6下(2～3、16～17、20～21、22～23、32～33頁)
他教科との関連への配慮	他教科との関連を一層進めることが示されていることをふまえ、低学年においては、生活科との関連を図るとともに、身体性を伴う造形活動や、身近な自然や友達などのかかわり合いを大切にしている題材を多く設定し、幼稚園・保育園での体験をもとに活動が展開できるように工夫しました。「総合的な学習の時間」や他教科との関連を視野に入れて、各学年の終わりにには総合的な扱いの題材を設定しました。また、「みんなのギャラリー」(全学年)では、社会科など他教科との関連を図りつつ、各地の伝統文化や国際理解の一端を紹介しました。	1・2上(38～39、40～41頁)／1・2下(37、38～39、40～41頁)／3・4上(38～39、40～41頁)／3・4下(30～31、38～39、40～41頁)／5・6上(40～41、42～43頁)／5・6下(32～34、40～41、42～43頁)
言語活動の充実への配慮	コミュニケーションや言語活動を重視した題材を多く設定しています。また、題材の最後には「ふりかえって、はなしあおう」を設定し、友達や先生と話しながら、コミュニケーション能力を高めていけるように配慮しています。	全般

●学習指導の効果と配慮

主な観点	編集の特色	該当ページ
編集の意図は明確であるか ①児童の心を開く	児童が快さや楽しさを十分経験し、心を開いて表現できるような基本的な活動を大切にしました。心を開いて表現することは、自らと対峙し、興味や関心、見方や考え方など、想像性や個性を培っていく原点です。	全般
②児童の思いを大切に する	児童一人ひとりの思いやこだわりを尊重し、大人の価値観を押し付けるのではなく、意欲的で自由な表現を保障しながら、児童一人ひとりが納得のいく活動を追求、発見、表現していけることを大切にしました。	全般
③造形的なものの見方や 考え方を大切にする	造形表現活動では形や色、材質を通してイメージや想像を広げ、造形的な発想力や構想力、創造力などに深くかかわっており、そうした造形特有のもの見方や考え方を養うことを大切にしました。	全般
④児童が自主的、主体的 に課題追求する活動を 大切にする	児童が自ら課題を見つけ、試行錯誤を繰り返しながら、表現対象や主題、材料や方法などを自己選択、自己決定していく場や環境を設定し、保障するなど、自主的、主体的な活動を促しています。	全般
⑤多様な造形表現活動を通した かかわり合いを大切に し、相互理解の場を取り 入れる	多様なものの見方や考え方、かかわり方や表現の方法などが思考できる造形活動を示し、多様な活動を認めたり、自他の違いを共感的に受けとめたりできるような相互理解の場を積極的に取り入れました。また、共同して他とかかわりながら活動できるような場や環境の設定に配慮しています。	全般
学習の目標と内容 および育てたい力との 関連性は明確であるか	図画工作科で大切にしたいことや育てたい力を「学習の目標」として明示すると同時に、児童の自己評価をページの最後に設置し、学習の目標と内容及び育てたい力との関連を明確にしました。図画工作科の授業を通して育てたい力を大きく3つにくり、それぞれマークで示しました。それぞれの題材名の上には、その題材で一番大切にしたいことを目標として、マークとともに具体的な文章で示しました。 また、児童の自己評価、振り返りの観点は、題材の学習の目標を受けた評価とし、児童が目標にそった自分の学びを確認する際の視点を示すことで、目標と評価の関連を明確にしました。振り返りの観点を示すにあたっては、各題材の最後に共通して、  ふりかえってみよう  ふりかえって、はなしかあおう  マークで示し、言語活動を充実させながら児童自身で学びを確認できるよう配慮しました。 図画工作科を通して育てたい力(3つのマーク)を以下に示します。  マーク：試したり、見つけたりしながら、自分らしい造形的な表現の追求と発見をする (試したり、見つけたり、考えたりして思いつく力)。  マーク：形や色、方法や材料について知り、造形的なものの見方や考え方を養う (形や色、方法や材料を工夫する力)。  マーク：心を開き、材料や自分自身、友達などとかかわり合うよさを知る (心を開いて楽しく活動し、友達とかかわり、協力し合う力)。	全般 各学年のもくじ
基礎的・基本的事項の 扱いへの配慮	発達の段階に応じて、基礎・基本としての幅広い知識と技能を身につけるために、用具・材料とその技法については、「道具箱」として、また形や色については、「パレットコーナー」として、発達の段階に応じた内容を各学年巻末にまとめて設定しました。また、各題材で表現のために必要な技法や知識は、確実に習得できるよう、それぞれの題材ページにグレーの囲みで示し、配慮しました。	全般 1・2上(42～45頁)／1・2下(42～45頁)／3・4上(42～45頁)／3・4下(42～45頁)／5・6上(44～47頁)／5・6下(44～47頁)
児童の主体的な学習 への配慮	魅力的な児童作品を大きく掲載したり、楽しく活動している写真を精選して掲載したりすることで、表現や鑑賞の活動の魅力を児童に伝え、主体的な学習を促すように工夫しました。その中でも特に、発想・構想の力が発揮されている場面をとらえ、児童のヒントになるように  いいこと  かんがえた マークとともに具体的な姿を示しました。また、題材に応じて適宜、児童が考えを広げて、より創造的な表現活動ができるように囲みを設けました。  マークで具体的な例を示し、児童の学習意欲に応えられるよう構成しました。	1・2上(13、17頁)／1・2下(13、21、24頁)／3・4上(17、28頁)／3・4下(10、13、20頁)／5・6上(11、21、29、41頁)／5・6下(13頁)
地域性への配慮	「『B鑑賞』の指導にあたっては、地域的美術館などを利用したり、連携を図ったりすること。」をふまえ、各地の美術館などでの取り組みを「みんなのギャラリー」(全学年)として扱いました。美術館だけではなく、地域に密着した行事や伝統工芸などと合わせた取り組みを「みんなていっしょに」「教室をとびだして」「伝統の技を学ぶ」のテーマで紹介することにより、児童が自分たちの住む地域に目を向け、身近な地域の中から児童や学校の実態に応じて活動できるように配慮しました。	1・2上(40～41頁)／1・2下(40～14頁)／3・4上(40～41頁)／3・4下(40～41頁)／5・6上(42～43頁)／5・6下(42～43頁)
カラーユニバーサル デザインへの配慮	NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構の校閲を得て、色覚に多様性のあるすべての児童に対して、教科書の内容がきちんと伝わるように、紙面全体に識別しやすい配色や形状、イラストの配色や写真の配置などを工夫し、支障なく学習できる教科書を目指しました。	全般
年間授業時数と 年間指導計画は 適切であるか	児童が持てる力を十分に発揮できるような題材の精選を行うとともに、年間授業時数を考慮し、授業方法や時間数などを多様に扱えるような内容の示し方をしました。また、児童の実態や地域・各学校の特性を生かした指導計画の編成がしやすいように、選択題材を設定することで対応しました。	全般
題材に魅力があり、 多様な扱いができるか	各題材は表現活動内容の必然性や課題の妥当性を考慮し、知識や技能を幅広く身につけると同時に、地域や学校の実態に合わせて選択可能な内容を示しました。	全般
学習の目標や 表現内容が焦点化され、 読み取りやすい 紙面づくりに なっているか	作品のカタログ的、羅列的な掲載は避け、学習の目標や表現内容を焦点化することで、授業方法や指導方法が指導者や児童にとって紙面から読み取りやすい構成に配慮しました。また、作品製作の過程や発想方法のヒントなどを紙面に示すことで、児童の工夫を引き出し、自主的、自立的な活動を促しました。児童作品については、できる限り多様な作品を掲載し、それぞれの価値を尊重すると同時に、自らの創造性を培う意欲づけとなるようにしました。	全般

題材は、全学年を通して「分野・領域」ごとに目標や使用材料などを考慮し、系統的にバランスよく配列しているか	児童が様々な活動体験や材料体験を深めると同時に、自然を大切に、環境の保全に寄与するような内容の設定を心がけました。また、自他を認め、協力して活動することの大切さを重視する内容の設定にも配慮しました。様々な理由で、屋外での活動や自然材料を使った活動が困難な学校状況に配慮し、室内でも取り組みやすい代替題材を選択できるように例示しました。	1・2上(10頁)／1・2下(12、26～27、28～29頁)／3・4上(24～25頁)／3・4下(28～29頁)／5・6上(28～29頁)
--	---	--

●編成度

主 な 観 点	編 集 の 特 色	該 当 ペ ー ジ
題材の系統性への配慮	選りすぐった題材を網羅するとともに、各学年の発達の段階に対応した系統性を、心情・技法・関心・意欲の視点で構築し、有効な積み重ねと転移が図れるように意図しました。(本冊子P.23・24参照)	全般
内容の配列や学年の順序性は工夫されているか	「自分の考えや感じ方を大切にする表現の追求」をテーマに、全学年とも年間指導計画にそった、いわゆる「カリキュラム順」の題材配列にしました。やさしいものから、より難しいものへと、難易度を考慮して順序性を整えました。また、児童の実態や地域、各学校の特性を生かした指導計画の編成がしやすいように、選択題材を随時、設定して対応しました。	全般 各学年のめくじ
内容の分量は適切であるか	低・中・高学年に応じて、題材の内容と分量を整備しました。学習指導要領に示されている年間授業時数をふまえ、題材の軽重のバランスを整えました。	全般

●表現の工夫

主 な 観 点	編 集 の 特 色	該 当 ペ ー ジ
文章表現は適切であるか	題材名は、活動内容の事実を紋切り型に表示することから脱却し、児童の心に響き、しかも内容が豊かにイメージされるように工夫しました。各学年の発達の段階に対応しつつ、新鮮な命名を心がけました。主文は、児童の言語感覚を大切にして、児童の心に語りかけ、題材内容や方法をイメージさせて意欲的に課題をつかみ取れるように練り上げ、工夫しています。また、個々の作品の解説文(児童のつぶやき)は、全国の実践レポートから児童の生の声を取材し、心情面から作品理解に役立つように配慮するとともに、作品製作や活動にあたっての材料や技法についての工夫を取り上げることで、教科書に掲載した意図を伝えることを重視しました。	全般
図版・写真は学習の内容に関連しているか	視覚的に親しみを増し、イメージをふくらませ、より正確に習得できるように、写真やイラストを折り込みました。とりわけ造形遊びは、視覚的に展開するように考慮しました。製作の手順、材料・用具の使い方、技法の手立てなどは読み取りやすい視点から撮影し、鮮明で、かつ意図が明確なものを厳選しました。	全般
レイアウトは斬新であるか	児童にとって最も身近な美術書としての位置づけをし、全ページとも各題材・内容をより明確にし、しかも感動的に楽しさが読み取れるように工夫しました。一人ひとりの児童が表現活動に見通しを持ち、主体的・自発的・発見的に造形活動が進められるように、文章・図解・情景写真・作品例などを配置しました。レイアウトはすべての児童が見やすく、活動したいという意欲がわいてくるように工夫し、作品や活動の情景などもできるだけ大きく掲載し、美しさや楽しさが伝わるようにしました。特に児童作品は、部分拡大するなどして、そのよさがよく伝わるようにしました。そういったすべてのねらいを一層実現するために、大判のA4判を採用しました。	全般
製作のプロセスや図解は明快であるか	製作過程の写真や図、材料・用具の扱い図など、正確さを必要とするものは児童の視点に立ち、細心の注意を払うとともに、図解を読み取る能力をつけるために、学年に相応した図を系統的に配置しました。	全般

●造本・体裁

主 な 観 点	編 集 の 特 色	該 当 ペ ー ジ
印刷は鮮明であるか	用紙については、見やすさ、印刷適正の観点から、数多くの用紙を使って試験し、その中から最適の用紙を厳選しました。特に印刷インキのざらつきを抑え、しっとりとした目に優しい紙を採用し、児童の目を保護するなどの配慮をしました。また、今日的な環境問題に配慮し、すべて再生紙を使用するとともに、インキは大豆インキを使用しました。印刷は、作品の持つ微妙なニュアンスや質感などを忠実に再現するために、最新の印刷技術を駆使し、かつ入念な色校正に努めました。	全般
製本は堅牢であるか	開いたときの使いやすさと堅牢さを考慮して、ミシン綴じ、見返し付きとし、表紙はダイオキシンの出ないPP加工をすることで、環境に配慮しつつも長期の使用に耐え得る製本としました。また、裏表紙には、児童の学校名・学年・組・名前などを記入できる部分を設けるとともに、グラビア印刷することで、記入にあたって、にじみなどができないように工夫しました。	全般
装丁は工夫されているか	表表紙は、児童の息づかいが聞こえるような児童絵画作品を紙面いっぱいに掲載しましたが、いずれも本文題材において取り上げたテーマの作品としました。また、児童の心に響く書名をつけることで、図画工作の楽しさ、素晴らしさを強く訴えました。書名を形づくっている材料はいずれも本文題材で取り上げた材料を使用しました。裏表紙は、上巻は「見つけたよ、すてきな形・色」、下巻は「つながる造形」をテーマに、児童の身近な場面で出会う様々な事柄が形や色という造形要素につながっていたり、生かされていたりすることを取り上げました。	各学年の表紙
安全および環境への配慮	表紙の表面加工とともに、印刷インキは、植物性的大豆インキを使用し、人体への影響が少なく、化学物質に敏感な児童に対しても、安全面を配慮しています。写真や図版の鮮明度を保ちつつ、資源保護のために表紙、本文とも再生紙を使用し、環境への配慮をしています。	全般

1. 分野別題材数

	1・2年Ⓐ	1・2年㊦	3・4年Ⓐ	3・4年㊦	5・6年Ⓐ	5・6年㊦	合 計
(1) 造形遊び	4	4	3	2	2	2	17
(2) 絵に表す	9	9	8	7	6	7	46
(3) 立体に表す	2	2	2	2	2	2	12
(4) 工作に表す	8	6	8	5	7	6	40
(5) 鑑賞活動	5	5	6	6	6	6	34
(6) 材料や用具の扱い	2	2	2	2	2	2	12
総題材数	30	28	29	24	25	25	161

2. 分野別ページ数

	1・2年Ⓐ	1・2年㊦	3・4年Ⓐ	3・4年㊦	5・6年Ⓐ	5・6年㊦	合 計
(1) 造形遊び	5	5	4	3	3	2	22
(2) 絵に表す	12	13	12	14	13	14	78
(3) 立体に表す	3	3	3	4	5	4	22
(4) 工作に表す	12	11	12	10	12	11	68
(5) 鑑賞活動	9	9	10	10	10	12	60
(6) 材料や用具の扱い	4	4	4	4	4	4	24
(7) もくじ	1	1	1	1	1	1	6
総ページ数	46	46	46	46	48	48	280

※上記の表「1.分野別題材数」と「2.分野別ページ数」の、(4)には「ひらめきコーナー」(p.18・19)を含める。(5)には表紙(表・裏)、「小さな美術館」(p.2～4)、「ゆめをかたち」(p.6・7)、「みんなのギャラリー」(1～4年p.40・41、5・6年p.42・43)を含める。(6)は「パレットコーナー」(1～4年p.42・43、5・6年p.44・45)と「道具箱」(1～4年p.44・45、5・6年p.46・47)を配当する。

3. 作品数など

		1・2年 ^上	1・2年 ^下	3・4年 ^上	3・4年 ^下	5・6年 ^上	5・6年 ^下	合 計
(1) 児童作品数		115	128	130	141	137	123	774
(2) 作家作品数	ア.日本人作家	9	13	10	10	6	7	55
	イ.外国人作家	3	2	2	2	3	4	16
(3) その他の作品数(文化財・民芸品など)		7	12	11	7	16	8	61
(4) 製作過程・表現技法などの写真		156	163	139	132	142	167	899
(5) 製作過程・表現技法などの図解		26	26	41	32	27	26	178
※半ページ以上の大きさの作品数		6	3	6	6	8	8	37

教科書を核として、豊かな教材で充実した授業をバックアップ!

開隆堂の
教材群

視聴覚教材
(DVD、掛図、鑑賞資料)

図書教材・教育書

季刊雑誌
(造形ジャーナル)

教科書
拡大教科書

文部科学省刊行物

教師用指導書

Webページ

デジタル教科書

※デジタル教科書は、CoNETSの一員として、教師用デジタル教科書を発行予定です。
CoNETSは教科書会社12社などで構成された任意団体です。



開隆堂出版株式会社

本社／〒113-8608 東京都文京区向丘1-13-1
TEL03-5684-6117(編集)／03-5684-6121(営業) FAX03-5684-6122
<http://www.kairyudo.co.jp>